



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第101号

2011年8月

発行：CTF松阪

障がい者の方のための 夏季パソコン講座開催

CTF 松阪恒例の夏季パソコン講座がはじまりました。

今月は、「パソコンで作って楽しむコース①」として、節電の必需品である「うちわ作り」をテーマに、受講者の皆さん、オリジナルな図案のうちわ作りに取り組んでいただきます。

来月は、「パソコンで作って楽しむコース②」として、卓上に置く可愛らしい来年のカレンダーを作ってください。

開催日時：9月5日（月）、12日（月）、26日（月）

各9時30分から11時30分まで

開催場所：松阪市障害者福祉センターにて

参加費用：教材費として1,000円程度です

受講ご希望の障がい者の方はCTF 松阪事務局までお申し込みください。



また10月3日（月）、17日（月）、24日（月）には、サポート従事者スキルアップ研修会を開催します。日ごろ障がい者の方のITサポートに従事されている会員の方、これからやってみようかと思っておられる会員の方、ぜひご参加ください。お問い合わせと参加申し込みはCTF 松阪事務局までお願いします。



まずは、東日本大震災の被災地の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

政府の一日も早い復興、復旧に全力を傾けて欲しいものです。

さて先月6月にて住宅用火災警報器の設置義務の期限が過ぎましたが会員の皆様には、既に設置されている事と思います。全国の普及率は63.6%です。身の回りのパソコンや、周辺機器のタコ足配線は大丈夫でしょうか？一度点検しましょう。ホコリやコードの束ね、コンセントの許容量の超過等を確認しましょう。

火災警報器の設置により死亡被害は半減すると言われております。

何事も小事こそ大事ですぞ・・・・・・・・

I. S

今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



カーネル・モードとは

Windows XP のタスク・マネージャを開き、CPU の使用率を示すグラフを表示すると見ることができます。デフォルトではユーザー・モードのプログラムの負荷しか表示しませんが、タスク・マネージャで「表示」→「カーネル時間を表示する」を選択するとカーネル・モード・プロセスによる CPU 使用率が赤線で表示されます。(図2)



図2 Windows XP/Vista/7 のタスク・マネージャ

つづく

第4面に掲載のリレー随筆の筆者H。H様からいただいた東日本大震災被災地での活動状況写真



海岸に突き刺さった貨物船



住宅地でのヘドロ回収



回収したヘドロ (超重い)



最終日は雨でした

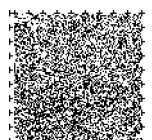


被災者宅で3・11を聞く



泥を水で洗い流す作業

- ・作業の合間に動画も撮影しました
<http://www.youtube.com/user/ZZZ1976ify>
- ・四日市市のCTYが同行取材
http://www.cty-net.ne.jp/streaming/cms/st_more.cgi?d=2&c=6670&p=1&x=10



活動報告

【7月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(5日、12日、19日、26日)

訪問ITサポート
(7日、14日、30日(2件))



活動予定

【8月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
2日、9日、23日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて

障がい者の方のための夏季パソコン講座
1日、8日、22日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



松阪食べある記

手打ちらーめん かつら

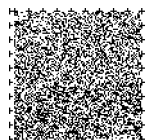
今月は松阪市役所の近くにある「手打ちらーめん・かつら」を訪ねました。

店内は小奇麗でカウンター席が10席ほどのこじんまりしたいい雰囲気です。自動販売機で食券を買って注文します。

メニューは少なめですが、いま話題の「つけ麺」もあります。夏場なので「冷やし中華」を食べましたが、他には味噌か醤油か塩ラーメンかを迷うだけで、どれも腰のある手打ちのラーメンがいただけます。味はあっさりとして年配者に好まれるように思われます。

写真は、つけ麺 550円(上)
冷やし中華 650円(下)

所在地：松阪市殿町1568-5
電話：0598-21-3966
営業時間：11:00~14:00
定休日：毎週日曜日、祝日



今月は、東日本大震災の被災地に行き、ボランティアとして復興活動に活躍されたH. H様から、現地の状況等についてのご投稿をいただきました。

先月、私は四日市大学の教職員が主宰するボランティアバス（1泊3日）に参加して、宮城県東松島市へ行ってきました。東松島市は、地名の通り日本三景である松島のすぐ東隣に位置しており、人口4万人程度の町ですが、今回の震災により死者1,039名、行方不明133名（6月中旬現在）もの甚大なる被害が明らかになっています。中でもテレビで再三取り上げられ、私たちの記憶にも新しいのが、（水没した）航空自衛隊松島基地や「くの字」に折れ曲がった電車の映像は、東松島市での出来事です。四日市市を出発して13時間後、バスの車窓からは凄惨な光景が次々と飛び込んできました。私たちは、自然を甘く見過ぎていたと思いました（想定外）。

到着したボランティア一行（33名）は、航空自衛隊松島基地近くの大曲（おおまがり）地区で活動しました。特に技術力は持ち合わせていないので、とにかく力仕事、ヘドロの回収に明け暮れました。回収に取りかかったヘドロは、住宅地や仮設住宅の用水路にどっさり堆積しており、どす黒い上にコーラル状で悪臭を放っていました。

地元住民に聞くと「長年、海底に堆積したヘドロが津波で運ばれてきた」とのことで、油も浮いていました。梅雨に入ると用水路が冠水するので、人海戦術でヘドロを土のう袋に入れて、用水路に消毒のため石灰を撒きました。作業をしていると、体中が泥だらけになるのはもちろん、作業服の下は汗びっしょりでサウナ状態となりましたが、地元住民から「ありがとう」と言われた時は、疲労感も消え失せて、とても嬉しかったです。

住民の方々から被災した時の話も聞きましたが、深刻な状況でありながら、そこから前向きに立ち上がろうとする人たちの「希望」を感じました。ふと自分が同じ立場だったら？と考えると、逆にたくさん「勇気」を貰いました。被災地では瓦礫の撤去が進んでいないという報道も目立ちますが、復興に向けて、人々は着実に「前」に進んでいます。震災から3カ月ほど過ぎましたが、まず私たちに出来ることは、関心を失わない事ではないでしょうか。

H. H

いただいた現地での活動の様子の写真は、紙面の都合により、第2面の後半部に掲載しました（編集部）



編集後記

猛暑で、熱中症の注意を喚起していますが朝夕は割りに楽に過ごしています。

節電とクーラー、両立は難しい問題です。

暑さ寒さも彼岸まで……。

まだまだ、水分と塩分の補給に気を付けましょう。



CTF 通信第 101 号

2011年（平成23年）8月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

